



2025年2月7日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号:4588)
問 合 せ 先 執 行 役 員 秦 耕 平
(TEL.03-5472-1578)

通期業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、本日公表の2024年12月期(2024年1月1日~2024年12月31日)業績につきまして、2023年12月期実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 2024年12月期業績と前期実績値との差異

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 63	百万円 △1,929	百万円 △1,913	百万円 △1,938	円 銭 △108.92
当期実績 (B)	31	△1,681	△1,663	△1,684	△77.17
差異額 (B-A)	△31	248	249	253	31.75
差異率 (%)	△50.2	—	—	—	—

2. 差異の生じた理由

2024年12月期の売上高は、前期実績と比較し31百万円の減収となりました。これは2023年12月期に発生した次世代腫瘍溶解ウイルス OBP-702に関するアカデミアからの受託収入が、2024年12月期に発生しなかったためです。

また、利益面では、OBP-301の商用製品用の原薬製造の完了など製品開発を中心に研究開発の進展はありましたが、2024年中に外注先から完了報告書を受領していない案件は、前払金から研究開発費へ振替が行われませんでした。その結果、研究開発費は前年実績を下回り、2023年12月期1,351百万円から2024年12月期1,088百万円と262百万円減少しました。

そのため、2024年12月期の販売費及び一般管理費は、研究開発費の減少を主な理由として2023年12月期1,960百万円から2024年12月期1,712百万円へ247百万円減少しました。その結果、営業損失・経常損失・当期純損失が2023年12月期と比較して縮小しています。

以 上